



編集後記, 次号原稿募集, 奥付

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-08-06 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: 住友, 陽文 メールアドレス: 所属:
URL	http://hdl.handle.net/10466/10681

編集後記

人間社会学研究集録の第5号をお届けします。

今回も人間科学専攻所属のみの論文の掲載となりましたが、それでも多様な専門領域の論文を掲載できたと思います。力作ぞろいですので、ぜひご味読いただきたいと思います。

また合評会をやる予定ですので、ぜひそちらにも興味のあるかたはご参加下さい。去年は、論評者は大学院生にお願いをしてやってもらいましたが、これがすこぶる評判がいいのです(たぶん)。論評される側は何が問題なのかをあらためて自覚することができますし、論評する側は批評することの難しさとおもしろさを味わうことができ、自分の研究をそこから見直すヒントを得ると思います。

さて、今年度から編集を担当させていただくことになりましたが、予測していたよりもかなり大変な作業でした。そのなかでも執筆者にお願いしてよかったことがあります。それは、査読者からのコメントに対して、どのように改稿したかを論文執筆者自身に書いてもらい、書き直しの原稿と一緒に編集委員まで返却してもらったことです。査読者への応答の意味もありますし、どのように改善したかがこれにより明示されますから、査読者にとっても参考になったと思われます。

ただ、執筆者にはぜひ注意してもらいたかったのは、投稿論文は完成原稿であるということです。校正過程で手直しをすることがないように気をつけてもらいたいと思います。

新年度もまた論文を募集しますので、どしどしと力作を投稿していただきますよう、お願いいたします。指導教員のみなさまも積極的に投稿を呼びかけて下さい。

最後になりましたが、斎藤憲さんをはじめ査読や編集作業に関わったかたにはこの場をお借りして感謝申し上げます。

編集委員 住友陽文(人間科学専攻)

『人間社会学研究集録』第6号ご投稿のお願い

編集委員

人間科学専攻 住友陽文

(sumitomo@hs.osakafu-u.ac.jp)

『人間社会学研究集録』は大学院博士後期課程の学生による論文を主とする雑誌で、専攻ごとに編集され、研究科全体でまとめて印刷・刊行されます。

人間科学専攻では下記の要領で原稿を募集いたします。投稿をお待ちしております。また、指導教員の諸先生におかれましては、該当する学生・卒業生にこのむね周知させ、原稿をご推薦くださいますよう、お願い申し上げます。詳細は別紙の執筆要領をご覧ください。(これは人間科学専攻の原稿募集要項です。言語文化、社会福祉の各専攻については、専攻の紀要委員にご照会ください。)

記

- 投稿資格** 大阪府立大学人間社会学研究科大学院生・研究生・修了者および所属教員(人間文化学研究科などの大阪府立大学・大阪女子大学の旧大学院の学生、修了者も含む)。大学院前期課程の学生の投稿も可能ですが、執筆中の修士論文は原則として対象外です。
- 投稿規定** 配布されるテンプレートファイルを利用して20頁を目安とします。ただし、機械的な制限は設けませんが、大幅な枚数超過の場合は枚数の削除をお願いする場合があります。投稿していただく原稿は、完成原稿とします。校正段階での手直しはご遠慮下さい。
- 申込締切** 2010年7月22日(できるだけこの日までに申込をお願いします。編集委員へのメールで結構です。)
- 提出期限** 2010年9月9日(これに遅れた場合でも受け付けますが、審査が間に合わず掲載できない可能性があります)。
- 提出先** 投稿申込み、原稿提出とも、各専攻の編集委員まで(電子メールを推奨)。
- 刊行予定** 2011年2月(2011年1月上旬までに審査済の最終原稿が提出された論文を掲載対象とします)。

電子メールは便利ですが到着しない場合もあります。

72時間以内に編集委員から返信がない場合は必ず確認してください。

人間社会学研究集録 第5号

2010年3月25日発行

発行所 大阪府立大学大学院
人間社会学研究科
〒599-8531 堺市中区学園町1番1号
TEL 072-252-1161 (代表)

印刷所 ハンカイ出版印刷株式会社
〒591-8003 堺市北区船堂町185番地
TEL 072-254-5555 (代表)